

労働福祉センターに関すること

【現状整理・明確化】

- 移転する際に紹介機能をどうするのか？

【規模】

- センター内（寄り場）で求人していない、できない車（周辺で60台）も、新しい拠点では入れるような工夫を
- 今、今後の景気では現在のセンターの大きさは必要ないのでは

【新しい機能】

- もっと若い人たちが職安を使えるように

社会医療センターに関すること

【結核対策】

- 結核患者が入院できるよう、機能を充実してほしい
- 結核患者を十分に対応できる機能が求められる
- 結核の入院には今以上の設備・施設が必要
- 医療センターがなくなれば、今まで以上に結核が広がるのではと懸念する
- 現在は、結核患者が入院できる病床はない
- 結核病院としての医療センターが必要

【現状整理・明確化】

- 入院機能はどこまで必要なのか検討がいるのでは
- 社会医療センターはだれでも医療にかかれる窓口的な場所
- 入口機能として、地域の医療のセンターとしての役割を無くさないでほしい

【新しい機能・提案】

- もっと地域の幅広い人が使えるように+αの機能を
- 退院した後の患者のフォローができるような機能がいるのでは
- ほっとかれへん人を大切にすることが重要

あいりん総合センター

【立地・移転先】 全体に関すること

- あいりん地域内 + 周辺地域にニーズを把握しながら機能を分散

【新しい機能・提案】

- 機能はたくさん持たせたほうがいいのでは今の機能性は残すことが前提
- それぞれの機能は、必要としている人がいるので、廃止ではなく機能をいかに高めるか議論が必要
- 地域のニーズを幅広く掘り起し、3つの機能の枠組みにとらわれず、再配置の議論に活かすことが重要

【規模】

- 空間の広さ、規模は必ずしも大きくなくてもよい

【立地・移転先】

- 現在のあいりんセンターがあるのはもったいない
- 現在の敷地内におさめるのではなく、地域内に各機能を分散させる最適解をさがすのが効果的では
- どこに土地があるのか不安でもある
- 具体的な確保できるスペースの広さを知りたい
- 三角公園の利用は？
- 三角公園をバザール化しては？
- あいりに隣接する場所でもOK？

市営住宅・住まいに関すること

【現状整理・明確化】

- 歴史は関係なく正当に入居している
- 集合住宅以外の方がごみを住宅内に捨てるなどのマナーが問題
- 集合住宅と生活リズムの異なる利用者が多く集まる機能は分けるべき
- 集合住宅の入居者と日雇労働者との生活リズムにずれがあり、迷惑な思いをしている

【居住者への説明】

- 市営住宅の自治会の意見を聞くべき？

その他

【会議の進行について】

- 地域とは何をさすのか？
- 以前、あいりん地域はないとの発言を市役所の職員がした
- なぜこの場であいりん地域という名称を使うのか
- 萩之茶屋や、釜ヶ崎などが考えられる地域として考えるとき、どのようなエリア、位置づけで進めるのか？
- 萩之茶屋エリアだけでなく、周辺エリアもまじえ、まずは地域として捉える必要がある
- 地域で、住民や関係者の意見をいろんな立場から吸い上げる必要がある
- 地域の活動団体で、意見をまとめてもらい、この場で共有・集約する必要があるのでは
- 住民の意識をいかに高めるか？
- 自分たちのまちを自分たちできれいにしていきたい、という思いがずっとある
- 「きれい」という意味は、行政が整備する再開発等ではなく、地域で暮らす人たちみんなのマナー向上である
- マナーの向上には、ごみを捨てない、自分たちのまちを大切にする、お互い安心して暮らせるなどである
- この会議に集まる人、住民が一番よく知っているので具体的に議論したい

労働福祉センターに関すること

【現状整理・明確化】

- 労働福祉センターと寄り場機能を明確にしないと、今後の議論が進まない
- センター機能を精査する必要がある
- もっと整理して話をしなければならない。2階のスペースは余っているのでは？使っている？
- 寄り場も労働福祉センターの機能として加えるのか？

【周辺環境】

- 道路手配を認めるなら現状と変わらないのでは？
- 寄り場があることにより周辺地域へ問題が派生している

【規模】

- 話し合いが、なぜ規模縮小になっているのか疑問
- 規模縮小は弱者の排除前提では？路上とかを管理するとしたらそれなりの規模は必要ではないか
- 今後の労働者の数で規模を決める？
- 現在、駐車スペースが70ある。そのスペースはどうする？
- 規模は、現状機能+α必要

【新しい機能】

- 規模が縮小すれば先細りになる。障がい者などの受け入れも考えてはどうか

【労働環境】

- 路上求人をしっかり管理してほしい
- 労働者を育てる(技能育成)余裕がない
- 建設業界は人手不足
- 労働者が増える可能性はない
- 寄り場の維持

【労働環境(若手育成)】

- 若手と仕事がマッチングしていない
- 「育てる」がなくなった。若い人が食べていけるだけの仕事がない
- 社会的弱者の方もかつては先輩に教えてもらい仕事を得た。それを無くすのか？
- 居場所が無いから若い人が拡散していくしかない。若い人も仕事ができる仕組みがほしい

【居場所】

- 若い人の居場所がない
- この街で都市雑業で生計を立てる人の居場所になっている
- 寄り場は就労の情報交換の場

【避難所・防災拠点】

- 寄り場を地域の防災拠点に

社会医療センターに関すること

【避難所・防災拠点】

- 避難場所を兼ねたい。萩小が現在避難場所
- 避難場所は使わない日常は図書館など、みんなが利用できる場所として活用
- 防災シェルターを医療センターの近くにしては？
- 避難場所の近くに医療機関が必要

【規模】

- 萩小ではいまの規模は入りきらない

市営住宅・住まいに関すること

【居住者への説明】

- 居住者の多くは、建替え前で、今の場所に建替えて戻ってくると思っている。仮移転先については、近隣移転だと思っている。(5年ほど前に行政からそのような説明を受けた)
- 説明を望んでいる。最終的には、1人1人と話し合いをもつ

【住民の繋がり】

- 居住者は顔見知り同士が多い
- 今のご近所関係を存続することが大事

【立地・移転先】

- 仮移転時の住宅は近くにしてほしい
- 建替え後の住宅は、センターの他の機能の近くでもかまわない。

その他

【会議の進行について】

- ゆっくり議論できる環境を保障してほしい
- 生保受給者の意見が反映されていないように思える
- 生保受給者の町会加入の流れができていない
- 住民の想いや意見を汲む機会がない。
- 労働者が町会に参加出来る方法を教えてほしい